

◆ 不適合とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

2025年12月23日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	補機冷却海水系ポンプ出口ヘッダ圧力検出元弁において、シート部に漏えい(海水)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、当該弁は通常「開」運用であるため、系統の運転に影響はない。	GⅢ	12月19日
2	3号機	燃料プール冷却浄化系ヒートサーモ式水位用蓄電池点検において、蓄電池(B)比重の管理値外れ(比重測定値の低下)が認められたため、当該蓄電池を交換。 なお、蓄電池(A)の比重値は正常なため、機能に影響はない。	GⅢ	12月19日
3	4号機	補機冷却海水系・原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器貝殻除去装置(C)のぞき窓(2個中1個)ワイパー操作ハンドルにおいて、当該ハンドルの折損が認められたため、当該ハンドルを修理。 なお、他ののぞき窓にて内部の確認は可能であるため、監視に影響はない。	GⅢ	12月19日
4	1・2号廃棄物 処理設備	廃棄物処理建屋1階東側通路(北側)に水溜まり(非放射性・約4.5リットル)を確認。調査を行ったところ、2階冷凍機室消火栓(RW-20)元弁において、シート部の漏えいによりホース内に水が溜まり、溜まった水が当該消火栓の下部へ滴下、滴下した水が消火配管の貫通部を伝って1階へ流れ込んだことによるものと確認。当該弁の下流側に新たな弁を設置し漏えいは停止。消火機能に影響はない。 なお、ホース内の水及び床面の水溜まりについては、排水及び拭き取りを実施。	GⅢ	12月21日